



平成 25 年 11 月 12 日

各 位

会社名 長野計器株式会社
 代表者名 代表取締役社長 依田 恵夫
 (コード番号 7715 東証第一部)
 問合せ先 取締役上席執行役員
 経理部長兼経営企画部長 矢島 寿衛
 (電話番号 03-3776-5333)

平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値との差異
 および平成 26 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 14 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成 26 年 3 月期通期連結業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、平成 26 年 3 月期通期個別業績予想につきましては修正しておりません。

記

- 平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値との差異（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 25 年 5 月 14 日発表)	百万円 18,530	百万円 440	百万円 380	百万円 220	円 銭 10.69
今回発表実績値 (B)	19,344	285	376	393	19.13
増減額 (B-A)	814	△154	△3	173	—
増減率(%)	4.4	△35.0	△0.9	78.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	18,726	539	314	18	0.91

(2) 個別

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 25 年 5 月 14 日発表)	百万円 8,290	百万円 450	百万円 420	円 銭 20.41
今回発表実績値 (B)	8,399	406	562	27.40
増減額 (B-A)	109	△43	142	—
増減率(%)	1.3	△9.7	34.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	8,730	149	65	3.18

2. 差異の理由

(1) 連結

売上高は、量産機種である自動車用・建設機械用圧力センサが増加したこと、および米国子会社の円安に伴う連結での為替換算による増収の影響により前回発表値を上回りましたが、国内での設備投資関連の計測機器製品の需要が低調であったことにより、営業利益は前回発表値を下回りました。

また、四半期純利益は、投資有価証券売却益を特別利益に計上したことにより前回発表値を上回りました。

(2) 個別

売上高は、量産機種である自動車用・建設機械用圧力センサが増加したことにより前回発表値を上回りましたが、設備投資関連の計測機器製品の需要が低調であったことにより、経常利益は前回発表値を下回りました。

また、四半期純利益は、投資有価証券売却益を特別利益に計上したことにより、前回発表値を上回りました。

3. 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 25 年 5 月 14 日発表)	百万円 38,160	百万円 1,410	百万円 1,240	百万円 870	円 銭 42.27
今回発表実績値 (B)	38,820	1,410	1,240	870	42.27
増 減 額 (B-A)	660	—	—	—	—
増 減 率(%)	1.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	36,652	909	913	401	19.54

4. 修正の理由

国内設備投資動向から判断して計測機器需要が増加する見込みであること、および米国子会社売上高の円安による増収の影響により、売上高は前回発表値を上回る見込みです。

なお、営業利益、経常利益および当期純利益は変更ありません。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上